

瀬戸内市「ゼロカーボンシティ宣言」

近年、気候変動問題に起因するとされる災害の頻発化・激甚化が世界規模で進んできています。豪雨災害や猛暑といった生命を脅かすような危機は、恐れていた以上の速さで我々の身に迫ってきていると認識しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」と示されています。そして、わが国においても、2020年の菅内閣総理大臣の所信表明演説のなかで、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す宣言がなされました。

このような流れのなか、瀬戸内市においても、自然エネルギーを活用した循環型社会の形成などにより、環境基本計画の将来像として掲げる「豊かな自然と快適な暮らしが調和するまち 瀬戸内」を実現し、持続可能で安全・安心な暮らしを次世代に受け継いでいくため、2050年までに瀬戸内市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民や事業者の皆様とともに、全力で挑戦することをここに宣言します。

令和3年（2021年）2月2日

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



瀬戸内市長

武之興也